

各常任委員会の経過

総務文教 委員会

委員会に付託された案件は、議案が三件でした。

平成十八年度一般会計歳入歳出決算の審査では、公債費比率が平成十八年度には十六・五パーセントに改善している。主な要因は何かという質疑に対して、平成十六年度から実施している繰上償還と起債額の減少によるものであり、今後、平成二十三年度までは、多少の上下はあるものの、その後は減少に向かっていると多くの委員が答弁しているとの答弁がありました。

また、消防費において、救急車の出動件数が年々増加している中、イオンのオープンにより更なる増加が見込まれる。現在の救急車の台数や職員数で対応できるかとの質疑



審査結果を報告する齊藤委員長

に対して、救急車は現在、本署に一台、西分署に一台、その他予備車両で対応しており、さらに加須市、行田市と結んでいる応援協定や県防災航空隊の協力が得られるようになってきているとの答弁がありました。

また、平成十九年度一般会計補正予算第三号では、教育費において、小学校における英語活動等国際理解活動推進事業について、羽生北小学校の指定の経緯を伺いたいとの質疑に対し、羽生北小学校が

ら申し出があり市として推薦を行い指定を受けたものであるとの答弁がありました。委員会ではこれらの審査の結果、付託議案三件はいずれも原案の通り可決・認定すべきものと決しました。

産業民生 委員会

委員会に付託された案件は、議案が十二件でした。

また、平成十九年度一般会計補正予算第三号では、畜産農家数は近年どのように推移しているかとの質疑に対し、平成十七年度十五件、平成十八年度十四件、平成十九年度十二件と、年々数件づつ減り



審査結果を報告する小野委員長

土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算において、区画整理事業の最終決算で、引き継がれる借入金残高はいくらかという質疑に対して、平成十八年度末で約十六億七千三百万円であるとの答弁がありました。

また、平成十八年度南羽生

《議会だより編集委員会》
委員長 丑久保 恒行
副委員長 蜂須直 巳
委員 藤倉 宗義
委員 斉藤 隆
委員 小野 幸夫

九月 十日	一人
十八日	六人
十九日	七十七人
二十日	九十八人
十月 四日	四人
計	百八十六人

常任委員会傍聴者数
九月二十五日……二人
二十六日……三人
二十七日……四人
計 九人

「ご意見などを
編集委員会まで」
〒048(561)1121
(内線)512

※羽生市議会のホームページを開設しています。羽生市のホームページからアクセスできますので、ぜひご覧ください。